



2023 年度第4回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2023 年 10 月 15 日(日) 13:00~18:20

開催場所 静岡県栄養士会事務局 および WEB

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		地域		
氏名	新井	久保田	若林	松島	戸田	日置	塚本	三浦	篠原	池谷	森平	白石
出欠	○	○	○	○	○	○	○	○W	○	○	×	○
職域事業部	地域		勤労		医療				福祉			
氏名	青島	栗原	森下	山崎	鈴木	渡邊美	渡邊潤	中村	太田	田森	杉山	柳澤
出欠	○	○	○	○	○	○	○W	○	○	○	○W	○W
監事	関	梅木										
出欠	○W	○W										

開 会 定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 6 名）に達しているため理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、医療事業部の中村朱美理事と太田紘之理事が指名された。

1 会長あいさつ

先日、令和 5 年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰の通知があり、静岡県より 3 名の方が受賞となりました。心よりお祝い申し上げます。また、9 月に開催された日本栄養改善学会にて、静岡県栄養士会の名をもって、理事がポスター発表をしていただいたことも、大変うれしく思います。多くの質問、ご意見をいただき、交流が図れたと伺っていますので、次年度以降も継続してトライしてほしいものです。

さて、様々な会議への出席を通じて、他団体との連携のお話をいただくことが多数あり、静岡県栄養士会として、どのように連携し、事業を展開すべきか、を協議しなければならないと感じています。法人としては、計画に則って事業運営しなければならないため、年度途中での新事業の運営が難しいため、次年度の計画を立てる際には、できるだけ会員の声を拾い、議論して対応してい

ただきたいと思います。コロナウィルス、インフルエンザウィルスが流行しはじめ、先行きが不安ですが、体調管理に留意し、今年度事業および新しい年度に向けての計画を推進していただけますよう、切に願っております。

## 2 前回議事録の確認

- ・2023年度第3回理事会議事録  
全会一致で承認された

## 3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

### (1) 新井会長

7月4日（火）	静岡市静岡医師会定例会議	静岡市医師会
7月6日（木）	杏林堂薬局健康医療ネットワーク部長挨拶	静岡県立大学
7月6日（木）	インボイス制度直前対策セミナー	WEB
7月21日（金）	静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会事前打合せ	静岡県立大学
7月22日（土）	清庵地区研修会	清水 岡生涯学習交流館
7月28日（金）	静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会	もくせい会館
8月17日（木）	地域包括ケア関係団体担当者会議	静岡県医師会
8月23日（水）	静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会	歯科保健部会 パルシェ会議室
8月25日（金）	静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会	食育部会事前打合せ 静岡県立大学
8月26日（土）～27日（日）	東海北陸会長等会議	石川県グランドホテル白山
8月29日（火）	静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会	食育部会 ペガサート会議室
8月30日（水）	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施研修会	プラサヴェルデ沼津
9月5日（火）	地域包括ケア推進ネットワーク会議	グランディエールブケトーカイ
9月6日（水）	特定健診・特定保健指導推進協議会	シズウェル
9月12日（火）	静栄臨時事業部会議	WEB
10月9日（月）	静栄 DAT 研修会	あざれあ
10月11日（水）	三役会議	WEB

### (2) 久保田副会長

7月4日（火）	インボイス制度直前対策セミナー	WEB
7月4日（火）	静岡市静岡医師会定例会議	静岡市医師会館
7月11日（火）	食べるからつながる事業打ち合わせ	WEB
7月18日（火）	静岡県循環器病対策推進協議会	WEB
8月2日（火）	静岡市食育推進会議	静岡市役所
8月6日（日）	2023年度災害対策事業担当者会議	静栄事務所(WEB)
8月26日（土）～27日（日）	東海北陸会長等会議	石川県グランドホテル白山

9月 1日 (金)	栄養ケア・ステーション説明会	静栄事務所 (WEB)
9月 11日 (月)	静栄 DAT 研修企画会議	WEB
9月 12日 (火)	臨時事業部長会議	WEB
9月 14日 (木)	介護予防推進指導者育成研修会 (中部)	あざれあ
9月 21日 (木)	総務企画調整委員会 (総会担当)	WEB
10月 7日 (土)	栄養ケア・ステーション部会議	静栄事務所
10月 8日 (日)	しずおかアクティ部	ツインメッセ
10月 9日 (月)	静栄 DAT スタッフ育成研修会	あざれあ
10月 11日 (水)	三役会議	WEB

### (3) 若林副会長

7月 6日 (木)	インボイス制度直前対策セミナー	WEB
7月 9日 (日)	元気を見つめる外食活用講師養成講座	あざれあ
7月 11日 (火)	食べるから繋がる地域包括ケア会議	WEB
7月 25日 (火)	静岡県地域包括ケアネットワーク会議	静岡市医師会館 4階
8月 26日 (土) ~ 27日 (日)	東海北陸会長等会議	石川県グランドホテル白山
8月 30日 (水)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施研修会	プラサヴェルデ沼津
9月 1日 (金)	栄養ケア・ステーション説明会	静栄事務所 (WEB)
9月 11日 (月)	DAT 運営委員会	WEB
9月 12日 (火)	臨時事業部長会議	WEB
9月 14日 (木)	介護予防推進指導者育成研修事業	あざれあ
9月 26日 (火)	静岡県保険者協議会への参画について	WEB
9月 27日 (水)	全国栄養改善大会	東京都都市センターホテル
9月 29日 (金)	研修部担当者会議	Zoom
10月 9日 (月)	静栄 DAT スタッフ育成研修会	あざれあ
10月 11日 (水)	三役会	WEB

## 4 報告事項

### (1) 静栄 DAT (中村理事)

- ・令和5年度 浜松市福祉避難所解説訓練 (令和5年9月3日) DAT 通信 VOL.9 発行  
参加者: 渡邊潤理事 中村 DPAT・JRAT
- ・2023年9月11日第1回静栄 DAT 研修企画会議開催 (議事録参照)
- ・NHK 静栄 DAT パッククッキング取材対応 (池谷理事)
- ・2023年10月9日静栄 DAT スタッフ研修 終了後第2回運営委員会開催予定
- ・2023年10月21日千葉県栄養士会 JDA-DAT スタッフ研修講師参加
- ・2023年10月30日静岡県行政栄養士会第2回研修会講師参加
- ・2023年12月17日 JDA-DAT リーダー研修参加 (池谷理事中村他4名)

## (2) 総務部企画調整委員会（森下理事）

2023 年度総務部総会担当委員会 (2023. 9. 21)

2024 年度静岡県栄養士会定時総会について打合せ 9/21

日程：2024 年 6 月 1 日 (土) 場所：あざれあ (選挙関係で 6/9 より日程変更)

### ■総会のハイブリッド配信について委員会内での意見（方向性）について

→総会後のアンケートに後日、見られればよかったという声があった。

→ハイブリッド配信はできるならやりたい

→本当に来たいけど来られない人のために、会員へ公平に情報を届けることになる

→ハイブリッド配信は難しい？

→準備が 9 割（機器手配、キッティング）が大変ですが、配信が始まってしまえば画面切り替えは、誰でもできる。

全体カメラのみ、ズームカメラなしとすればカメラマンも必要なし

### ○ハイブリット方式

メリット→時間帯や日程により参加できない会員のためにも必要。

デメリット→会場参加者が増えない要因でもある

### ■必要備品について

昨年予算では Wi-Fi ルーター1 台・カメラ 2 台・三脚 1 台

→配信するなら必要な機器一覧を出し機器レンタルするなら相場を確認する

→一般相場で計算する

→レンタルパッケージで見たほうがいい

→知識があればいいが、個別に機器をレンタルすると、相性や接続端子等の不具合のリスクも有る

### ■人員配置

#### ○運営委員について

→理事任命時に運営委員さんに手伝いをお願いしたい

→お手伝いは欲しい

→理事候補の運営委員としては、総会の関わりがあったほうがよい。（という声もある）

→運営委員の日当と交通費について、予算検討をしたい。

・ただし半日ではなく、1 日参加のみ。

・少し様子見るだけなら、総会参加者（日当等はなし）

#### ○役割分担について

・事業部ごとに役割分担を割り振って決めておくのはいかがでしょうか。

分担決めや次年度の引き継ぎの際に伝えやすい、運営委員の必要人数やお願いしやすいのでは？

→特定の役割については、固定化（属人化）しそうなリスクもあるため、要検討。

・上川議員等の参加により厳戒態勢を引く場合は人員が多数必要になるのでは

→声はかける予定なので、想定はしておく

・人員を決定するためには役割分担の「枠」を例年よりも早めに決める必要がある

→分担についてはハイブリッド配信する／しないなどの大きな方向性が決まってからとなる。

■静岡県の講演内容の確認

→例年同様講演をお願いしたい。

時間配分は30分程度でよいか、公衆衛生部長に今後講演内容等について確認をお願いする。

■特別講演の内容提案の検討

- ・最新情報や栄養士・管理栄養士が知っておくべき内容、情報
- ・総会の集客率があげられるような演題

○特別講演の進め方

1. 10/8までに 各職域事業部長に意見を取りまとめて総務部長に1~3案リストをあげていただいて、まとめたものを理事会で協議する。
2. 理事会でテーマ候補リストから多数決で決める (1, 2, 3候補)  
→10月中には講師のアポ取りを行いたい。
3. 12月理事会でテーマ決定を報告

■定時総会では、理事や運営委員の顔合わせや会員との交流の場としていきたい。

○会場参加者を増やしたい

→現地参加する「魅力(メリット)」を考えて、参加動機をつくるのはどうか?

- ・総会最後に、おたのしみ抽選会 くじやルーレットで当選番号を発表し商品の提供  
賛助会員の詰め合わせセット (10社+α)
  - ・料理コンテストなどの投票や表彰など (過去に実施したこともある)
- ・会場に来るメリットとして  
「会場参加の場合は単位認定がもらえる」、オンラインの場合は単位認定されない。

(3) 広報部(渡邊潤理事)

- ・おすすめメニューコンテストについて

会員より期限を過ぎているが3メニューを応募したい旨連絡あり、了承した。メニュー提出後、確認作業の終了次第ホームページに公開予定。

(4) 地区事業部(塚本理事)

- ・「2023 しずおかアクティ部」に静岡県栄養士会として参加 (公1事業 健康づくり啓発協力事業)

10月8日(日) 10:00~16:00 ツインメッセ静岡 南館

参加者: 久保田副会長、中部地区会員、塚本

感想:

- ・東部地区の地区研修(交流会)の結果を地区事業部理事で共有(別紙あり)

(5) 栄養ケア・ステーション部(杉山理事)

- ・栄養ケア・ステーション登録申請書 提出状況 115名 (10月10日現在)

- ・認定栄養ケア・ステーション事業所数 17事業所

新規認定: 杏林堂認定栄養ケア・ステーションにこここ健康ルームながいずみ中土狩

更新認定：メイプル薬局認定栄養ケア・ステーション

- ・フレイル予防のための相談窓口について

チラシ配信後、多職種及び一般の方も含めた相談の電話 6件

相談内容はいずれもフレイル予防のちょっとした内容ではないが対応している

- ・日本栄養士会のホームページ「管理栄養士がいない診療所の皆様へ」新設

- ・栄養ケア・ステーション部会議 10/7（土）14：00～17：30

交流会 参加申込人数 39名（2023.10.10現在）の運営について

栄養ケア・ステーション運営規程について

委託事業における多職種向けリーフレットについて

栄養ケア・ステーション部次年度の動向について

静岡医師会合同研修会

東京都栄養士会会長 西村一弘 先生

参加申込人数 会場 20名、WEB17名（2023.10.10現在）

#### (6) 学術部（県民調査・研究委員会）（田森理事）

- ・栄養改善学会 ポスター発表 9/2（土）

#### (7) 研修部（渡邊美子理事）

- ・9/2（土） 担当：3事業部合同

「料理写真の撮り方、SNSへの掲載のコツ（スキルアップ編）」研修会

「演習1 写真の撮り方」「演習2 SNSへの掲載のコツ」

榎林写真事務所 フォトグラファー榎林武俊 氏、Elthink 代表 山崎靖晃 氏

参加人数 午前 29名 午後 26名 ※HP 報告書参照

実践に即行かせるような内容だととても魅力的な研修だと思います。

プロのカメラマンの生の指導がとてもわかりやすく良かった。

見やすいレイアウトや文字のフォントなどを教えてもらいたい。

見やすいパワーポイントのコツも知りたいと思う。

- ・09/29 第2回研修部運営会議 ※議事録参照

- ・11/25（土）担当：学校事業部

学校健康教育事業部対象「個別的な相談指導推進のための研修会」

栄養教諭・公認スポーツ栄養士 重田 玲子 先生

参加申し込み人数 10名（2023.10.10現在）

- ・11/26（日）担当：医療事業部

「病態栄養研修会（PES）を学ぶ」

静岡県立大学臨床栄養管理学研究室教授 新井英一 氏

参加申し込み人数 午前 34・午後 32名（2023.10.10現在）

#### (8) 公益事業委員会（委託1、2）（池谷理事）

1. 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業

① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る研修会

2会場終了

- ・ 沼津会場 8月30日 参加者 34名
- ・ 静岡会場 9月14日 参加者 27名
- ・ 浜松会場 11月24日(金) 13時30分から16時30分Uホール23会議室

② 通いの場の事業

- ・ 申し込み状況 中部地区 5件  
東部地区 35件
- ・ 通いの場講師用 ホームページ作成中 10月末ごろ完成予定  
9月27日 1:00～ ホームページ打合せ
- ・ 追加リーフレット 今年度中に作成予定

2. 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務

① 担当者連絡会回数：1回 10月24日実施予定

出席者

医師会、歯科医師会、薬剤師会、歯科衛生士会、看護協会、訪問看護ステーション協議会、  
介護支援専門員協会、理学療法士会、言語聴覚士会、ホームヘルパー連絡協議会、地域包  
括・在宅介護支援センター協議会、行政 等

内容

介護・看護・栄養に関わる職能団体の連携に向けて、担当者間で具体的な検討を行う。

協議内容

- ・ 栄養ケア・ステーション周知用リーフレット(案)について
- ・ 医療と介護関係者と栄養ケア・ステーションとの連携における課題について(意見交換)

② 栄養ケア・ステーションリーフレット作成

③ 連絡調整会議 1回 1月予定

3. 営業指導センター

① 飲食店対象事業

- ・ 9月7日(木) 13:00～15:00(受付 12:30～)  
場所：ホテルクエスト清水
- ・ 11月8日(水) 13:00～15:00(受付 12:30～)  
場所：富士グリーンホテル

② 冊子配布状況(10/5現在)

2,950冊

③ 高校生の講座 県内10講座

- ① 静岡県立下田高等学校南伊豆分校
- ② 静岡県立御殿場高等学校

- ③ 清流館高等学校
- ④ 静岡中央高等学校
- ⑤ 静岡県立静岡農業高等学校
- ⑥ 静岡県立静岡農業高等学校
- ⑦ 静岡県立浜松江之島高等学校
- ⑧ 静岡県立浜松江之島高等学校
- ⑨ 静岡県立磐田農業高等学校
- ⑩ 静岡県立磐田農業高等学校

#### 4. しずおか健幸惣菜パートナー運営事務局業務

##### 業務内容

##### ① 新規パートナーの登録申込みの募集及び受付

- ・ 申込受付と取りまとめ
- ・ 県が作成した募集案内チラシを、関係者（管理栄養士、関係団体等）へ配布、周知する  
     ➡ 興味のある方、働き方世代の方がいたら紹介をお願いしたい。
- ・ パートナー募集のための研修会回数 1 回  
     対象 事業所給食施設

##### ② 登録済みパートナーへの支援

- ・ 発信情報の収集
- ・ PRグッズ、資料の提供
- ・ パートナーが利用者や県民に発信するための資料を2回作成し、各パートナーへ電子データで提供する。

##### ③ しずおか健幸惣菜パートナーの活動状況調査

- ・ 調査項目

しずおか健幸惣菜の提供状況、継続の意思確認、提供の工夫点や課題、利用者の声等

- ・ 調査対象

調査時点で登録のあるパートナー（令和5年度7月末現在125店舗）

- ・ 調査結果

推進委員会で調査結果を報告するとともに、各しずおか健幸惣菜パートナーへ還元する

#### 5. 食品表示講習会 県内3か所

1. 9月26日（火）富士市文化会館ロゼシアター
2. 11月29日（水）焼津市焼津文化会館
3. 1月19日（金）掛川市生涯学習センター

#### 6. 富士宮市食文化推進プロジェクト推進事業

（富士宮市フードバレー推進協議会委託）（担当 若林副会長）

「地産地消ランチセミナー」 10月4日（水） 10時～12時 実施



会場 あさぎりフードパーク内「ビュッフェレストランふじさん」  
参加者数 31名で実施

#### (9) 地域活動事業部（池谷理事）

- 8月30日 地域活動理事運営委員会
- 9月2日 三事業部 合同研修会
- 9月19日（火）フリーランス栄養関連企業等 説明 WEB 資料添付
- 10月25日（土）11:00～16:15 東京で地域活動公衆栄養活動研究会
- 11月25日（土）11:00～公衆栄養活動研究会（参加費 5,000円）

#### (10) 医療事業部（鈴木理事）

- ・第1回静岡県医療的ケア児等支援ネットワーク会議  
支援センターから家族へのつながりが重要。医ケア児が地位にどのくらいいるか把握必要。  
支援センター移動相談室に管理栄養士も同行してほしい。（時期未定）  
多職種での情報共有を行っていく。
- ・病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士のための地区リーダー研修会  
（渡邊美・鈴木・中村・太田出席）  
会員増対策の成功例⇒和歌山県・宮崎県報告 対面型へ移行  
栄養部門実態調査 2021年 30.7%⇒2022年 33.0%⇒2023年 39.1%と回収率アップ  
3/2（土）食事療法学会 診療報酬改定について

#### (11) 福祉事業部（田森理事）

- ・福祉栄養士リーダー会議 参加 8月5日（土） WEB
- ・栄養ケアマネジメント研修会② 8月6日（日） WEB

#### (12) その他

##### ①表彰について（事務局 安倍）

栄養関係功労者厚生労働大臣表彰受賞決定（8/28）、表彰式（9/27）

栄養指導業務功労者 水嶋 美穂子会員

栄養指導業務功労者 渡邊 潤会員

知事功労別表彰（保健衛生功労）

第3回理事会で報告した県知事表彰候補者は辞退、代わりの候補者も条件を満たさないことがわかり、推薦者はなしとなった。

##### ②インボイス制度への対応について（事務局 安倍）

栄養士会は8月下旬に登録申請し、10月1日から適格請求書発行事業者となった。

※「適格請求書」とは、仕入税額控除を受けるために取引の内容を証明する証憑書類の総称のこと。  
事務局から発行する請求書について様式を変更した。

併せて、請求書保存方法について、事務局内で一か所に保管するための統一のルールを作った。

## 5 協議事項

### (1) 事業部編成 地域活動、勤労者支援事業部の一本化に伴う、静栄としての対応（新井会長）

日本栄養士会は政策集団（政策団体）として、事業を展開しています。例えば、医療事業部は診療報酬改定をはじめ、さまざまな制度改革に向けて、事業部が一体となって活動を展開しています（厚生労働省からの問いに対しての実態調査を実施すること、診療報酬に直結するエビデンス作りなど）。この3～4年近く、日栄職域統括事業部も事業運営が大きく変わり、政策に焦点を充てた事業や部としての活性化に向けた事業を展開しており、年度計画、執行状況、振り返り作業を行うなど、取り組んでいます。これまでの活動状況を踏まえ、6月の日栄総会にて、現在の7つの職域事業部を再編する方針が出され、6つの職域事業部となる方向となりました（地域活動事業部および勤労者支援事業部を統合し、フリーランス・栄養関連企業等事業部としてスタート）。「統合された」という負のイメージを感じるかもしれませんが、現時点、取り組まなければならない重要な政策がない、また、他県においては、勤労者支援事業部会員が0名で部としての存在がない例もあり、これらの理由もスリム化を行う要因の1つになりました。今後は定かではありませんが、必要に応じて改革が行われると予想しています（新井会長の私見）。

会員は「事業部」に所属してはいるものの、各々が取り組むまたは目指す専門性は異なることから、現在の研修制度の考え方は「分野」として対応し始めています。そのため、会員個々が自己研鑽するのは「分野」（複数選択可）として、所属する就業先が目指す政策に対しては「職域」として、対応する方向で歩み始めました。

それに伴い、静岡県栄養士会の体制をどのように整備すべきか、協議する必要が生じました。日栄の意向は、当面は従来通りの職域を残して対応する案（この場合、フリーランス・栄養関連企業等事業部のリーダーは1名選出）、日栄と同じ組織体制に移行する案、のいずれかを定める必要があります。

8月末に開催された東海北陸会長等会議においても、同案件の意見交換が行われたが、他県の意向としては、どこも検討中または継続して対応する（他県の動向について様子見をする）などの意見であった。

そこで、9月12日に臨時の静栄職域事業部長会議を行い、意見交換を行った。その結果、勤労者支援事業部からの複数の理事選出が難しい状況が数年間続いていること、また、委託事業をはじめ地域活動事業部の活動の発展を考慮すると理事数を減らすことは避けたい等を鑑み、事業部は日栄同様に統合するが、理事の選出数は現状維持とし、可能な限り現勤労者支援事業部会員の声を反映できるように理事を選出する提案（勤労者支援2名、地域活動5名）として意見を集約した。

この提案に対して、協議をしたい。また、役員改選までに、会員周知も行いたため、通知方法および通知文について協議をしたい。

- ➡ 日本栄養士会は地域活動事業、勤労者支援事業部を統合。各県の対応は県に一任となっており、先日臨時で静栄職域事業部長会議を開催した。日栄と同様、事業部を統合し、「フリーランス・栄養関連企業等事業部」とする。理事の数は計7名（統合前の勤労者2名、地域活動5名）で変更せず。（地域活動事業部の委託事業の負担、勤労者の事業活性化等を考慮）

## (2) 2024 年度予算編成について (若林事業部長、久保田総務部長)

事業計画及び予算申請締切： 11 月 20 日 (月) までに事務局長、と三役に CC でメール提出

\*表題：事業計画・予算申請 (事業部、委員会等) \*委託事業は除く

\*地区事業部は 11 月 17 日 (金) 〆切、まとめ提出は 20 日 (月) 目途に

メール文面：①予算変更の有無 (有・無) ②事業計画の説明 (主に新規、増額、変更点を簡潔に)。

12 月 4 日 (月) までに確認メールでヒアリング実施。

### ・事業編成について (若林事業部長)

⇒ 事業編成の変更について、書面で会員へ通知 (10 月中)

予算はないので公益会計で処理する。

⇒ 大きな研修会以外は目的、目標とする参加人数を考慮して開催時期や事業 (研修会?) をやるか否か提案戴きたい。

⇒ 今年度は県民栄養調査を県と協力して実施したが、今後については 10 月 26 日に県と会議を予定している。栄養士会として、公益事業として今後も実施可能か、実施する必要があるか等々を協議。協議結果次第で次年度の計画を立てて戴きたい。

⇒ 収益事業については赤字にならないようにして戴きたい。収益事業をどのように展開したら良いか提案を戴きたい。

### ・事業計画および予算の申請について (久保田総務部長)

2023 年度事業、会議等の進捗および支出が適切であるか、今一度確認をお願いしたい。その状況を踏まえ、具体的な事業計画に基づいた予算案を提出するように。

⇒ 事業計画及び予算申請締切は 11 月 20 日 (月) まで

⇒ 2023 年度予算の執行状況

収入：予算の新規入会数 (131 名) より実際の入会数が少ない (91 名)、

正会員の未納者 66 名、賛助会員で辞退を申し出ている企業もあり、収益としては予算よりマイナスとなっている。

支出：日本栄養士会総会 (大阪開催) 予算立てしておらず、12 万円程かかった。

前年度は収支が黒字であったが、公益社団法人としては法人会計の黒字金額が恒常的に発生していることは問題。

予算は、適切に執行して次年度の予算立ての見積もりをして戴きたい。

栄養ケア・ステーションは公 1 事業で人材育成をする役割はなく、事業の中で交流会を行うのは適切ではない。次年度以降、人材育成をどのように実施するか要検討。

## (3) 理事任期満了に伴う役員改選について (新井会長)

### ①次期理事数について

理事の定数：17～25 名 監事 (4 年任期) 改選 2 名

現在、理事 24 名：代表理事 3 名、理事 21 名 (医療 5 名、学校 2 名、勤労者 2 名、研究教育 2 名、公衆衛生 2 名、地域活動 5 名、福祉 3 名)

【参考】

会員数	医療	学校健康	勤労者	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
2023. 10. 10 現在	547	84	54	45	109	213	342	1,394名

理事数について

- ➡ 25名(代表理事3名、理事22名)へ増員することで承認された。
- ➡ 栄養ケア・ステーション事業は現在回っておらず、専任で行う人材が必要。代表理事(副会長)の増員は定款を変える必要があり、総正会員の議決権の2/3以上が必要となる。理事の人数は定款で17名以上25名以下と定められているが、各職域事業部の人数は定められていない。地域活動事業部理事を1名増員し、栄養ケア・ステーションに専念するのはどうか。

## ②日本栄養士会代議員数について

現在7名+補欠1名

日本栄養士会代議員数は、定款により250名と定められている。  
各県の代議員数は、2名に、前年度末の会員数に応じた数名が加わる人数となる。

## ③選挙管理委員会の立ち上げについて

・選挙管理委員の任命について(10月末任期満了)

現在：奈良和幸委員長(医療)、大橋路代委員(地域)、  
清水洋子委員(地域活動)、山内裕子委員(福祉)  
※選挙管理者(立会人)

現在：高木圭子会員(医療)、杉山貴紀会員(医療)

次期は全員留任。委員長は第1回選挙管理委員会で決定する。

- ➡ 来年6月理事の改選。また、幹事2名(任期4年)も改選となる。選挙管理委員会は10月末で任期満了だが、続投戴けることとなった。選挙管理委員長について今後退任の予定があれば、後進育成についても検討戴くよう依頼した。承認された。

## ④書式の変更について

➡ 追加資料②

### 1 「立候補届」

立候補者がどういったことに対して栄養士会に貢献するかということを明示

### 2 「公報届」

会員全体に公開されるため、個人情報への配慮として生年月日を廃止。代わりに2024年4月1日時点の年齢を記載することとなった。承認された。

## ⑤役員改選までのスケジュールについて

今後決定していく。

第1回選挙管理委員会の開催について

2023年11月9日(木)16:00～(場所:栄養士会事務所)

- ➡ 1/21～立候補の届け出

理事の交代がある場合はスケジュールに沿って準備を進める。

#### (4) 戦略検討委員会（篠原理事→新井会長）

現在、多くの会議にて、他団体から連携推進のお話しをいただく。例えば、歯科医師会（歯科衛生士会）、看護協会、介護支援専門員協会、理学療法士会、訪問看護協会、ホームヘルパー連絡協議会から、研修会や共同のイベントなどのご提案をいただきました。各職域事業部または各専門事業部にて、取り組みたい事業がある場合は、希望またはご提案をいただきたい。

栄養ケア・ステーションの活性化を図るための策を、皆様からご意見をいただきたい。

➡ 他団体と合同で研修をしたい場合は理事会での協議が必要であり、他団体との会議等に参加して今年度実施したいでは予算がなく難しい。開催を希望する場合は事業計画に挙げる。会同士の連携が必要であれば会長から他団体へも連絡を行う。

#### (5) 総務部企画調整委員会（森下理事）

1. 2024年度もハイブリッド形式で実施するか。

➡ ハイブリッド開催

今後、簡易ハイブリッドの検討も。

（Webは定点カメラのみで、全て視聴したい方は会場参加といったような形）

2. 昨年の役割分担担当部門の問題点・配置人数について確認する

➡ 運営は理事のみ（新任理事含む）。運営委員には今後のこと（理事を勤める可能性）を考え、総会への積極的参加を促す。

今後運営体制を変更（運営委員の総会運営参加）するのであれば、運営に必要な人数を明確にしておく必要がある。

3. テーマ候補リストから演題・講師を協議

➡ 追加資料「定時総会 特別講演について」

（各事業部からテーマ・講師に関する意見提出）講師については総務部一任  
次回総会には講師決定。講師料予算は5万円。

4. 会場参加者を増やすためのアイデアの提案

➡ 特別講演以外も参加促進を促すような企画があれば意見を出して戴きたい。

#### (6) 広報部（渡邊潤理事）

・「メール詐欺の手口について」のミニ講座を以下のとおり開催したい

日時：平日夜間（19:00から30分程度）

講師：山崎理事

会場：Zoom+YouTube（動画）

対象：理事、事務局員、運営委員？

➡ 栄養ケア・ステーションのメールアカウントパスワードが流出

山崎理事の提案により、なぜ流出する危険があるのか学ぶ機会を設ける。

日時：11月9日（木）19:00～

対象者：理事、事務局員

開催方法：Zoom（当日参加できない方は後日 Youtube で視聴）

➡ ステルスマーケティングについて

消費者に広告であると明記せずに隠した販促・宣伝行為。栄養士の Instagram で賛助会員の商品を掲載した場合、案件でなくとも賛助会費の納入（金銭授受）の関係で意図せずステルスマーケティング規制法に抵触する可能性がある。

(7) 地区事業部（塚本理事）

- ・11月開催予定の令和5年度地区代表者 WEB 会議の連絡（別紙あり）

地区活動の考え方

- ➡ 研修会の考え方について承認。交流会を目的とした研修は非会員も無料。

交流会のための簡易的な研修会では生涯教育の単位認定も行わない。

- ➡ 交流会だけの開催を試み、会員12名、非会員12名の参加で盛況であった。予算5000～8000円程。保育園の栄養士が多く参加され、相談できる場所がない、県栄としても研修会がなく入会の動機がないなど、保育園栄養士のとりこぼしが浮き彫りになった。次年度入会するという声も聞かれたが、実際入会するかは不明。半期で入会できないかと意見が出たが、交流会の開催時期を年度始めにすることで対応できそうである、交流会自体の開催は賛成だが、参加人数が多かったのは交流会が良いからか、運営委員が声掛けたからか。今回のケースは運営員の声掛けによるところが大きい可能性がある。理事と運営委員で同じ方向を向いて、研修会・交流会について取り組む必要がある。

(8) 栄養ケア・ステーション部（杉山理事）

- ・栄養ケア・ステーション運営規程について意見をいただきたい

10月7日 栄養ケア・ステーション部会議にて協議、作成した運営規程案 参照（別紙）

- ➡ 各自一読し、各事業部で関われる点などあれば、杉山理事に報告。（10月31日まで）  
12月に最終稿とする。

(9) 研修部（渡邊美子理事）

①2024年度の研修会について

- ・生涯教育実務研修は、2023年度まで「学校」「3事業部合同」「医療」にて企画・運営  
→今後は毎年の開催を必須とせず、次年度開催を希望する（実施が必要な）場合のみ実施することにしてはどうか。（例：日栄からの全国展開での事業部の研修会開催など）
- ・会員のニーズや関心もさまざまであり、以前のように一つの研修会で100名以上の集客は難しいと考える。30名程度の集客でも、目的に沿って実施されていることが必要

- 企画時には、研修会への参加見込みの人数も報告。実施後に評価、分析する
- あまりにも参加人数が少ない研修会については、見直しが必要
- ・委託事業での研修会開催や公1の研修会等については、研修部ではなく担当者が企画・運営している。担当者の負担増とならないよう、関わりが必要か。また、参加者増に向けた検討も必要
  - 各担当のご意見を伺い、次年度につなげる
- ・2024年度からは、研修案内の郵送書類は研修会一覧のみを送付し、詳細はホームページで確認してもらう方向。HPの研修一覧については、広報部と連携して更新
  - 来年度より、年度初めの年間計画一覧のアップは山崎理事へ依頼(委託の範囲内で)。
  - できるだけ年度始めには年間計画が決まっていると良い
  - 内容の定期的な更新は研修部で担当予定。
- ・HPに研修案内を出す際には、1研修会に対し、1枚ずつの研修会案内が必要
  - これまで通りに、研修会案内は理事会での承認を得る。
    - 理事会は3か月に1回程度となるため、計画的な案内の作成が必要
    - 研修会の2か月～半年前には、ホームページへ案内アップをお願いしたい
- ・研修会運営については、研修部としてはできるだけ対面での研修会を開催していただき、会員同士の情報交換の機会としてもらえるようお願いしたい
- ・交流会については、研修会ありきでの交流会でなくてもよいのではないかとのご意見あり
- ・交流会のみでの集客の方法について、好事例があれば参考にしていく
- ・「総会」「栄養士大会」「DAT研修」「事業部研修」では、会員同士の交流の機会を作っていただくように企画をお願いしたい
- ・「地区ブロック研修会」では、コロナ禍以前には理事にも介入していただき、会員・非会員との交流の機会を設けてきた。コロナ禍以降はオンラインでの研修会となり、理事の参加も地区により異なる現状で、理事と地区とのかかわりも課題。
  - 理事の皆さんには、可能な範囲で「地区ブロック研修会」に関わりを持っていただき、会員の維持・増加につなげるための取り組み(交流会・非会員への参加の呼びかけ)をお願いしたい
- ・研修部の在り方について、理事の皆さまのご意見を伺い、次年度以降の活動につなげたい
  - ⇒ 会員へ各研修会案内を郵送しないこと(研修会一覧のみ郵送)は以前の理事会で承認済み
  - ⇒ 現在は各研修会でアンケートをとっているが、次年度は研修部として共通項目を設け、各研修会でアンケートを実施する。アンケートはGoogleフォームで作成
  - ⇒ 総会、栄養士大会、DATの3つについては必ず実施し、他の事業部研修会については今後精査していく必要がある。例年実施しているから行うのではなく、事業内容と目的を踏まえ次年度の予定を計画。
  - ⇒ 従来はリーダー研修会に出席した理事が県内で情報伝達研修をするということが筋であり、事業部が同じ方向性を向いていた。現在はそういったものが形骸化し、集客の悪さにも繋がっている。また事業部全体で会員の意見を吸い上げて、研修会の方向性を決めることも重要だが、そこまで至っていない。
  - ⇒ 会員が研修に参加しないのは日程の問題なのか、研修会の存在を知らないからか。この辺りもアンケート内容に盛り込む。

早めの研修会設定とアナウンスの充実（HPに掲載、メルマガへの配信、Instagramへの研修会案内掲載も視野に入れる）

#### (10) 公益事業委員会（委託1、2）（池谷理事）

食べるから繋がる地域包括ケア推進業務

- ・ 栄養ケア・ステーション周知用リーフレット（案）についてご意見をいただきたい
  - ➡ チラシについての意見があれば10月21日（土）までにメールで伝達。
- ・ リーフレットの著作権については要確認。委託事業として作成したものを、栄養士会として自由に使用できる形にしたい。

しずおか健康野菜パートナー運営事務局業務

- ・ チラシ配布にご協力ください

管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業

- ・ 参加者が少ないので声掛けをお願いしたい

浜松会場 11月24日（金）13時30分から16時30分Uホール23会議室

10月5日現在 17名

公益委員会の予算を付けていただきたい

- ・ 委託事業の全体の打ち合わせを、地域活動事業部の予算で行っております。

委託事業全部について進捗状況から、今後の計画まで、話すためです。

個別の事業についてだけ打ち合わせるのでしたらそれぞれの委託事業で出すことができますが、全部の委託事業について担当理事として理解していただきたいため、調整がついたときに地域の予算の中で行っています。地域事業部の予算は地域事業部の事に使いたい。次年度フリーランス栄養慣例企業等に代わるのでしたら、別に予算を付けていただき、その中で運用したい。

- ➡ 地区研修事業部の理事全員が全ての委託事業を担当しているわけではないが、情報を共有しておきたいこともあり、委託事業全体の打合せを行うことがある。各委託事業の打合せではないため、打合せ費用を委託事業費から支払ってよいか悩ましく、地域事業部の予算で支払っている。委託事業として2万2千円（1100円/人×5人×4回）の予算を申請したい。今年度は委託事業内の打ち合わせについては委託事業費内では調整して支払っていただきたい。議事録については委託事業全体の打ち合わせの場合は、議事録にはメインの委託事業について最初に記載し、その事業から打ち合わせの費用を出す。現在公益委員会であるが、公益事業部とするか組織編成については三役会にて検討。

#### (11) 地域活動事業部（池谷理事）

- ① 在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップのように、食材費等 実習を伴う研修会の場合、当日のキャンセルは、食材等経費が掛かっているため、事前の案内で、注意喚起したい。

- ➡ 事前に研修会の参加費を集めるシステムは日栄しかやっていない。誰が支払いしたかを確認する

作業がかなり手間であり、確認作業を誰が行うのかといった問題が発生する。キャンセル時



の料金返済の取り決めもない。現実的には注意喚起のアナウンスを案内文に載せるしかない。

- ② フリーランス栄養関連企業等になり、勤労者支援と合同になった場合でも、理事の人数は減らさないでいただきたい。ご存じ通り委託事業を地域の理事が中心に行っており、現状でも自分の仕事と委託事業の日程調整を手分けして行っている状況です。事業を円滑に進めるにあたり、今までの経緯もあり連絡調整等難しい部分があるため理事の人数は減らさないでいただきたい。

## (12) その他

### ①2024 年度総会日程について

6月9日(日)に予定していた来年度の総会日程について、日程を変更したく、協議願いたい。

理由は、日栄総会の日程が6月22日(土)、23日(日)で、各県栄代議員の承認は総会の15日前でなければならないことが日栄の規程で決まっているため。6月1日(土)か2日(日)である必要がある。

6月1日(土) あざれあ予約済み

6月2日(日) あざれあ休館日 労政会館は既に予約が入っている

➡ 6月1日(土)に決定

## 6 承認事項(協議を経ず理事会で承認を受けたいもの)

### (1) 新入会員の承認について(久保田総務部長)

➡ 承認

### (2) 学術部(県民調査・研究委員会)(田森理事)

・2023年度 県民調査のホームページ公開

➡ 次回理事会でHP掲載内容の承認を得る。3月までにHP掲載。

### (3) 福祉事業部(田森理事)

・在宅介護者の食生活支援事業の開催について

日時: 11/12(日) 13:30~16:00

会場: あざれあ 生活関連室

内容: 講師3名(矢部氏・田中氏・田森)による講話・実演

➡ 対面で行う。包括支援センターや認知症カフェなどで広報を行う予定。

#### (4) 研修部

##### ①2023 年度月別研修予定一覧（研修部）

※資料参照

➡ 年度末には研修会予定一覧に参加者人数を追加して戴きたい（宮崎さんへ依頼）。参加人数が少ない所は今後開催を継続すべきかどうかを検討する。研修会の参加人数は地区事業部の報告会で定時されるのみ。研修会の参加人数を可視化することで、参加人数の多い研修、少ない研修を把握し、主催者（理事、地区研修担当者等）は危機感を持って事業計画に取り組むよう努めて欲しい。

##### ②インボイス制度について

- ・10月からインボイス制度が始まり、必要な書類から対応
- ・受講者あてと賛助会員あての領収証を添付のように変更（登録番号記載）
- ・インボイスは事業者間の書類だが、受講者（個人）からインボイスを求められる場合再発行が必要なため、あらかじめ対応したものにする必要あり
  - ➡ 賛助会員宛の領有書、参加者宛の領収書の様式変更を承認。（資料 P30～31）  
関係する理事、運営委員に送付。

##### (5) 保険者協議会委員の参画について

9月26日に静岡県国民健康保険団体連合会 総務課 栗田主査と秋山課長、県健康福祉部国民健康保険課 長島主査が来所され、静岡県保険者協議会委員の参画についての依頼があったので、ご承認いただきたい。

静岡県保健者協議会の設置運営規程では医療関係者は参画及び助言を求めることができるとされ、オブザーバーとなっていた。

7月の法改正で保険者協議会が法的必置となり、オブザーバーだった医療関係者（県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県栄養士会）が新たに委員となったため、委員就任の同意を求められている。（医療関係団体は負担金無料）

専門部会と作業部会で構成されており、各部会で委員の推薦も求められている。

専門部会は医療関係者を除いた委員で構成されている。限定的な決議は優先される。

作業部会は医療関係者の事務局とされているが、栄養士会は三役・理事会で検討すると回答。

静岡県保健者協議会では協議会でも委員の案について再度検討するとのこと。

今後のスケジュール

保険者協議会への参画意向確認書 三役会議、理事会を経て、回答予定（10月15日以降）

委員の選出 協議会、作業部会委員は11月の期日までに。

協議会開催 12月中旬

➡ 参画の意思表示のみ行う。（若林副会長）

保険者協議会は若林副会長が参加、作業部会の委員は協議会の案では、団体の事務局となって

いるが、栄養士会では事務局対応では難しい。作業部会の内容が不明なため、特定健診の関係の方がよいのか、依頼が来るまでに検討していきたいが理事の中で、後日依頼していきたいので協力をお願いしたい。

#### (6) 事務局員の時給変更について

静岡県の最低賃金に変更（40円上昇）されたため、最低賃金を下回るパートタイムのみ、10月分から時給の変更を承認していただきたい。⇒承認

昨年、一昨年の時給変更も、発効年月日に勤務した分の賃金から、最低賃金を下回る賃金は強制的に最低賃金に引き上げられるため、10月締め分の時給から変更している。

⇒事務局長の業務負担が大きい。現在の業務分析を行い、三役のほうから各理事へ業務分担していく予定。

### 7 連絡事項

#### (1) 会員への通知発送について

- ・12月9日（土）第5回理事会後、次年度会費納入依頼通知の発送を予定
- ・1月中旬 次期役員選挙公示の通知
- ・2月中旬 選挙公報の通知

#### (2) 栄養士大会の演題募集について

演題募集締め切りが10月20日（金）までです。各事業部、お近くで発表していただけたらという方のお声掛けをお願いします。

⇒医療1、福祉1、地域未、研究教育1（+1~2）、勤労未、学校未  
公衆衛生1、スポーツ未

最大7演題あれば良い。10/20までの応募状況で事業部への追加募集依頼。

#### (3) 電子帳簿保存法への対応について（事務局 安倍）

2024年1月から義務化される電子帳簿保存法への対応について、

「電子取引データ保存」に該当する取引情報について、要件を満たして保存することが義務付けられた。電子データの請求書や領収証は紙での保存が認められなくなる。

現金で立替払いの領収書等で事務局に請求する場合、電子データのものは電子データで提出いただきたい。（インターネット経由で出したETCの領収証や、ネット通販で出した領収証、メール添付で受け取った請求書、領収証など）

⇒電子データの請求書はPDFで事務局に送付  
もともと紙のものは紙で提出する。

### 8 確認事項

#### (1) 行事日程の確認について

## (2) その他

- ➡ 総括：理事 24 名体制で 2 年間やってきましたが、継続的に上手く回ってきている所と稼働し切れていないところが混在している状況。理事が立案した事業は必要な事業であり、承認したいのが正直な所だが、実際はお金ありきの話なので会員増が一番のネックとなっている。会員増対策のために事業を展開するわけではないが、会員のメリットになるためには、いろんな事業の展開をしていかなければならない。また、社会から栄養士を求められるような働きかけ、事業展開をしていかなければならない。公 1 事業についても、他団体のように一般公開講座のような取り組みを検討したほうが良いかもしれない。研修会についても、スキルアップに繋がる、かつ住民たちの健康を支えることになるのであればやっていきたい。公 1 事業、研修会、交流会いずれにしてもどこが（誰が）企画するのか理事の皆さんにも考えていって戴きたい。執行部の説明でもあったように、入会金収入の予算立てが十分にできていない。理事が会社の執行部であれば全員退任。それくらいの危機感を持たなければならない。理事の皆さんにも同じ方向を向いて戴きたい。

本日の ZOOM (WEB 会議) システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事	新井 英一
	久保田 美保子
	若林 恭子
	松島 天子
	戸田 知里
	日置 朝子
	塚本 ゆみ江
	三浦 綾子 (WEB)
	篠原 啓子
	森下 知代
	山崎 靖晃
	池谷 広美
	白石 明子
	青島 千恵
	栗原 理江
	鈴木 恭子
	渡邊 美子
	渡邊 潤 (WEB)

中村 朱美  
太田 紘之  
田森 稔浩  
杉山 智子 (WEB)  
柳澤 利哉 (WEB)  
出席監事 梅木 幹子 (WEB)  
関 明子 (WEB)

議事録作成者 中村 朱美  
議事録作成者 太田 紘之


この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2023年10月15日  
公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 

副会長 久保田 美保子 

副会長 若林 恭子 

監事 梅木 幹子 

監事 関 明子 